

# 授業参観・救急講習・学級懇談会



**昭和小**  
第9号

校長室便り  
文責  
生田 文明

六月二十八日(水)、一学期末の授業参観を実施しました。

入学・進級して三ヶ月経ちましたが、子どもたちの授業の様子はいかがだったでしょうか。

本校では、互いに違いを認め合いながら、主体的に学び合い高め合う児童の育成を目指しています。授業では、自ら進んで学ぶ場面、互いに学び合い高め合う場面を意識して取り入れています。教師主導の授業から、子どもが創造する、子ども主体の授業を目指しています。

この視点からのご意見も是非、次回の学級懇談会でいただけたらと思います。

授業参観後は、PTA主催で、救急講習を開催されました。

講習会では、夏休みのPTAプログラム開放へ備え、鏡消防署救急隊員の方から、命を救う応急手当について、教えていただきました。

救命のためには、

- ① 心停止の予防
- ② 心停止の早期認識と通報
- ③ 一次救命措置(心肺蘇生法・AED使用)

この①②③をその場に居合わせた人が行う事が大切だそうです。



今回の講習が、いざというとき、命を救う行動をとるための一助になったと思います。尊い命を救うための講習を今後もお願いします。



## ケータイ・スマホ 安全教室

五日(水)、七中体育館で、七中校区健康教室の一環として、標記教室が開催されました。

ネットいじめ、誘い出し、炎上など、スマートフォン等利用に伴うトラブルについて、再現ドラマを交え、わかりやすくNTTドコモの講師の方から教えていただきました。

子どもをネットトラブルから守るために、大人の責任としてルールづくりやフィルタリングをしていきましょう。

## 授業研究会



昨年度から先行的に実施している「特別の教科 道徳」(全国では、来年度から完全実施)。これまでの、ともすれば読み物中心となりがちだった道徳の授業から、「考える道徳」「議論する道徳」へと転換を図る必要があります。

そこで、「特別の教科 道徳」の授業改善を

行うための授業研究会を五日

(水)に二・三年生で実施しました。「正直・誠実」のテーマのもと、過ちや失敗をしてしまった後にとる行動について、資料の登場人物の気持ちや考えと自分の気持ち考えを重ねながら、また、自分や友達の考えを出し合いながら、正直で明るい心で生活することの大切さについて、考えていきました。

授業後、子どもたちは、「すぐにあやまつたら、心がすっきりするんだなとおもいました。」「ともだちがなやんでいたら、正しきにあやまつたほうがいいよとおしえてあげたいです。」などの感想を寄せてくれました。今後も、正直で明るい心を実践していきましょう。

## 親守詩 作品募集中

授業参観日にお知らせしましたように、今年も親守詩(おやもりうた)を募集します。親守詩とは、子どもが 五・七・五で、親が 七・七で作る、「感謝」と「親心」を表現した親子の「キヤツチボール」短歌です。作品づくりを通して、さらに親子の絆を深めていただきたいと思います。

二十日(木)の終了式の日までに、作品を担任まで、ご提出ください。心温まる力作をお待ちしています。

(子) パパのひざ たまにわたしも すわりたい  
(親) おとうとたちが ねたらおいで

全国大会 優秀賞

